

## 中央住宅

さいたま市・浦和美園でフランス風の街づくり  
暮らしに合わせた4つのスタイルを用意

埼玉県さいたま市最大規模の再開発エリア「みそのウイングシティ」で戸建分譲住宅（91邸）の販売を開始した。全てが土地面積150㎡以上のゆとりある住まいを提案。フランスの街並みをモチーフにした。

中央住宅・マインドスクエア事業部が、埼玉県さいたま市で最大規模の再開発エリア「みそのウイングシティ」において、戸建分譲住宅「ボウ ヴィラージュ浦和美園 グランディール・セゾン」（91邸）の販売を開始した。

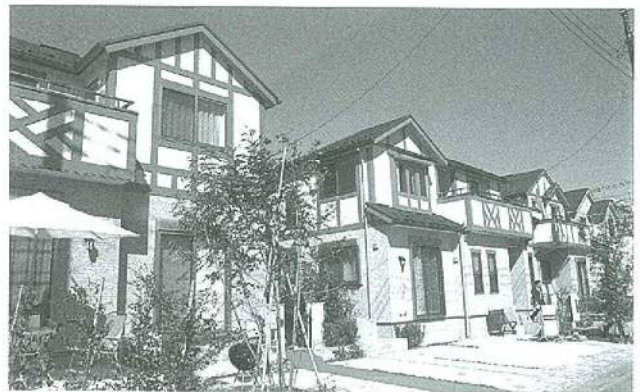
「みそのウイングシティ」は浦和レッズのホームスタジアムである埼玉スタジアム2002があり、今後、順天堂大学医学部付属病院や大型商業施設の開業も予定されている。同社は2006年にも「みそのウイングシティ」で「ボウ ヴィラージュ美園」（172邸）を販売した実績がある。

「2006年の時は想像以上に早く販売できた。成長エリアなので今回も期待している」（マインドスクエア事業部 金児正治取締役事業部長）としている。今回の「ボウ ヴィラージュ浦和美園 グランディール・セゾン」は、91邸すべてが土地面積150㎡以上の大型分譲地。そのため、2台分のカースペースと南向きの広々とした庭を配し、開放感のある街区を形成する。

フランスの街並みをイメージし、住宅の外観デザインには3つのデザインを採用。北側には外壁の下部に石積み調のサイディングを使用し、上部にティンバーをあしらった「ノルマンディースタイル」。南側に素焼風の淡いオレンジの瓦とベージュの石積み調外壁を使った「プロヴァンススタイル」を配置。中央にパリの住宅をイメージした白い外壁とグレーのストレート屋根の街並みをモチーフ



「成長エリアでの販売に期待している」と語る金児取締役事業部長



フランスの街並みをモチーフにした「ボウ ヴィラージュ浦和美園 グランディール・セゾン」

にした「イル・ド・フランススタイル」を配置した。

「つどい」「ホビー」「ミセス」「なごみ」を  
テーマに間取りを選べる

間取りは家族の暮らしに合わせて選べる4つのスタイルを用意した。「つどい」は家族や友人とにぎやかに過ごすスタイル。皆で集まれるウッドデッキを設け、キッチンにはゲストをもてなすカフェカウンターを用意した。「ホビー」では1階から2階に上がる途中に、趣味の時間が楽しめる空間「DEN」を設定。「ミセス」は家事や育児に忙しいミセスのために、家事動線を考えたスタイルだ。「なごみ」は縁側のある和室や陽当たりの良いテラスなど、寛ぎの時間を愉しめる。価格は3280万円～4180万円（税込）。

「ボウ ヴィラージュ浦和美園 グランディール・セゾン」は滑り出しも好調で、「2月20日の発売からすでに12棟が売れた」という。来場者も3週間で52組にのぼった。

「低金利のため、お客様も買い時と思っており、決断が早い」（金児取締役事業部長）としている。

3月中旬には第2期の販売を予定している。